

DXで「大雨から大切な命を守る」防災啓発

「大雨から大切な命を守る」意識が、Z世代や防災への関心の薄い人たちに伝わるよう、デジタル技術を活用しトレンドを意識したコンテンツによる防災啓発活動に取り組みました。

1. 浸水疑似体験VR・浸水疑似体験映像

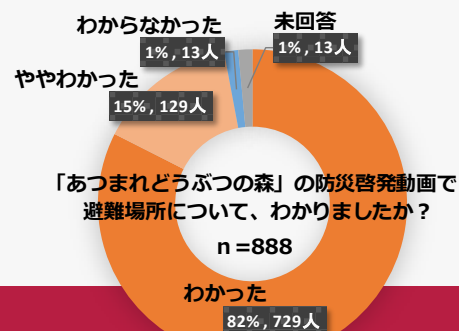


●VR体験した生徒からは、「災害を経験したことが無いのでVRを体験して水害の怖さが解った」「近隣の人にも呼びかけ早期避難したい」などの意見があり、早期避難に向けた意識向上と避難インフルエンサー育成に繋がっている。

●シナリオに沿ってゲーム感覚で疑似体験し、避難方法を選択、選択によりそれぞれの結末が待っているというコンテンツであり、観るだけでなく選択する作業が加わることで、体験者が自分事として捉えることが出来、体験後に体験者同士が話し合うことで、更なる啓発効果が期待できる。

●VRに出てくる浸水で歩けなくなるシーンをプールで実体験したり、上階へ逃げるシーンに対して垂直避難訓練と組み合わせるなど、学校での防災教育の深化にも繋がっている。

2. あつまれどうぶつの森を活用した啓発動画



●児童が楽しんで学ぶことが出来、水害からの避難を1分という短時間で学ぶことが出来る。防災教育支援としてタブレット学習での活用も期待できる。「頭に入ってきたし、面白くてわかりやすかった」などの声も聞かれ、90%以上の児童が避難場所について理解できたと答えている。

●人気ゲームなど、多くの人が興味を持つコンテンツを活用する手法は今後の活用にも期待が持てる。

3. デジタル展示館



- ブームの昭和レトロな街並みの中で、白黒写真からカラー写真への変換を自らスワイプすることで、楽しみながら防災を学べ、「災害を身近に感じた」など若年層の反応も良い。
- 自らスワイプしてカラー化するという作業が加わることで、より自分事に捉えることが出来る。
- HPでの視聴だけではなく、アプリでもダウンロードも出来、若者を中心に場所を選ばず視聴が可能である。

4. おうちで災とSeeing



●災害にまつわる碑や史跡を360度の空間で、コロナ禍でも家に居ながら気楽に楽しめるバーチャルツアー。

DXで「大雨から大切な命を守る」防災啓発

平成4年度に参加したイベントは27回、約1,400(11月末現在)の方にVR体験して頂きました。また、学校での防災講座は、26校(予定3校含む)、受講した生徒・児童数は令和元年度から延べ1,700人(11月末現在)となりました。ダイバーシティを意識し、障がいのある方や外国人への防災講座なども行っています。今後も、国・自治体等関係機関との連携を図るとともに、防災教育を支援し、地域防災力強化の一助となるよう取り組みを進めて参ります。

浸水疑似体験VR



岐阜市立梅林中学校



愛知県立豊橋工科高校



山県市立高富中学校



愛知県立一宮工科高校



大垣市立大垣東中学校



可児市立可児工業高校 文化祭



春日井まつり



名古屋市 瑞穂区民まつり

浸水疑似体験映像の視聴



岐阜市立徹明さくら小学校



郡上市立吉田小学校



岐阜県防災教育フェア



木曽岬町防災フェア2022

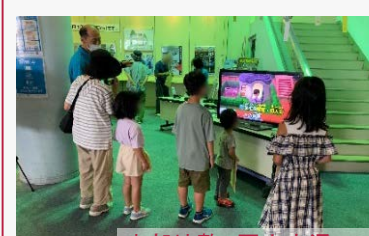
あつ森動画の視聴



郡上市立八幡小学校



豊田市 藤岡防災キャンプ



中部地整 国土交通DAY



大垣防災フェス2022

デジタル展示館の視聴



関市立関商工高校



岐阜県立岐阜高校



岐阜県立岐阜聾学校



羽島市立桑原学園(7年生)

おうちで災とseeingの視聴

※愛知県立豊橋工科高校 防災講座のようすは、メーテレニュース令和4年9月9日放送(最後3分程度)でご覧いただけます。

